

資料No.5-1

江田島市交流定住促進協議会
令和4年3月23日

令和4年度 江田島市交流定住促進協議会 事業計画（案）について

1 活動方針

本市では、人口減少・少子高齢化が急速に進んでおり、人口減少による弊害が税収減、公共交通機関の利用者減、まちづくりの担い手不足など広く悪影響を及ぼしており、このままでは近い将来自治体としての機能維持が危ぶまれる事態にある。こうした状況を改善するため、市内への定住人口の拡大、特に若い世代の定住を促進する。

長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地方回帰志向は依然として高い。ひろしま暮らしサポートセンター（東京都にある県移住相談窓口）によると、地域課題や地域貢献に意欲的な若者の瀬戸内エリアへの関心が高い。江田島市交流定住促進協議会では、市や関係団体等と連携し、市移住交流拠点施設「フウド」を中心とした移住相談対応、企業の誘引・相談対応、市内外の交流を通じて、移住定住促進及び交流人口・関係人口の拡大を目指す。

2 事業について

(1) 移住交流拠点事業

フウド事業

平成29年度から開始し、令和4年度は事業開始5年目に当たる。今後も引き続き、移住交流拠点施設フウドにおいて、イベント・セミナー実施等を通じ、市内外の交流を図る。移住定住促進の拠点としてフウド運営を行う。（外部委託事業）

(2) 移住定住事業

移住希望者の相談対応、空き家バンクの物件内覧案内を引き続き行う。市が行う移住促進事業と連携し、移住促進を図る。（外部委託事業）

(3) 婚活イベント支援事業

婚活イベント支援事業については、広島中央地域連携中枢都市圏（呉市を中心とした広域連携）事業で、婚活イベントのPR経費として5千円、イベント費用として250千円の負担金を依頼されているので、これについては予算計上する。

(4) その他

その他必要に応じて取組を実施する。